

公益財団法人昭瀝記念財団

事業報告

第5期

(2021年7月1日から2022年6月30日まで)

1. 事業の概要

(1) 奨学事業

① 2021年7月1日から2022年3月31日まで

第3回の奨学生30名に対し、一人当たり月額2.5万円の奨学金を支給した(第5期における支給額:月額2.5万円×30名×9ヶ月=675万円)。

第3回奨学事業 応募・採用状況		
学年	応募者数	採用者数
大学2年生	5名	4名
大学3年生	9名	5名
大学4年生	14名	10名
大学院1年生	6名	5名
大学院2年生	8名	5名
大学院博士後期課程	1名	1名
合計	43名	30名

なお、当該事業の実施に際しては、指定校制を採用し、近畿大学(大阪府)、中央大学(東京都)、東京農業大学(東京都)、長岡技術科学大学(新潟県)、日本大学(東京都)、福岡大学(福岡県)の6校を指定校とし、当該指定校の理工学を学ぶ大学生・大学院生を奨学生の対象とした。

② 2022年4月1日から2022年6月30日まで

第4回の奨学生32名に対し、一人当たり月額2.5万円の奨学金を支給した(第5期に

における支給額：月額2.5万円×32名×3ヶ月＝240万円）。

第4回奨学事業 応募・採用状況		
学年	応募者数	採用者数
大学2年生	7名	4名
大学3年生	11名	11名
大学4年生	6名	6名
大学院1年生	5名	2名
大学院2年生	8名	8名
大学院博士後期課程	1名	1名
合計	38名	32名

なお、指定校については①と同じである。

(2) 助成事業

第3回の研究助成対象3件に対し、1件当たり年間100万円の助成金を支給した（第5期における支給額：100万円×3件＝300万円）。

第3回研究助成対象		
氏名	所属機関等	研究題目
中西 典明	一般財団法人建設工学研究所・客員研究員	簡易かつ経済的な動的変位測定による路面下空洞の合理的陥没危険度評価手法の検討
鍋島 康之	明石工業高等専門学校・都市システム工学科・教授	LiDAR スキャナ搭載端末による路面調査の省力化に関する研究
山本 亨輔	筑波大学・システム情報系（構造エネルギー工学域）・助教	迅速かつ低コストな車両・橋梁・舗装の同時点検システムの社会実験

(3) 財団の広報活動

当財団の実施する事業が広く一般に認知されるように、ホームページ (<https://www.shoreki.co.jp/zaidan/>) の記載内容の充実を図った。

また、大学関係者に対しては、学内への周知を依頼し、優秀な学生からの奨学生の応募、優秀な研究者からの研究助成の応募が得られるように、積極的に働きかけた。

2. 第5期の会議の開催状況

(1) 第19回理事会・・・2021年8月24日

- ① 2020年度（第4期）事業報告及び決算の承認・・・承認可決
- ② 定期提出書類の承認・・・承認可決
- ③ 研究助成選考委員の選任・・・承認可決
- ④ 第6回評議員会の招集・・・承認可決

(2) 第6回評議員会・・・2021年9月14日

- ① 2020年度（第4期）決算の承認・・・承認可決

(3) 第3回研究助成選考委員会・・・2022年1月21日

- ① 2022年度研究助成金選考基準の承認・・・承認可決
- ② 2022年度研究助成金助成対象者の選考・・・承認可決

(4) 第20回理事会（決議の省略の方法による）・・・2022年1月31日

- ① 2022年度研究助成対象の承認・・・承認可決

(5) 第4回奨学生選考委員会・・・2022年5月30日

- ① 2022年度奨学生選考基準の承認・・・承認可決
- ② 2022年度奨学生の選考・・・承認可決

(6) 第21回理事会（決議の省略の方法による）・・・2022年6月3日

- ① 2022年度奨学生対象の承認・・・承認可決

(7) 第22回理事会・・・2022年6月21日

- ① 2022年度（第6期）事業計画等の承認・・・承認可決
- ② 2023年度奨学金募集要項の承認・・・承認可決

- ③ 2023 年度研究助成金募集要項の承認・・・承認可決
- ④ 昭和瀝青工業株式会社第 58 回定時株主総会議決権行使の承認・・・承認可決

以 上

公益財団法人昭瀝記念財団

事業報告の附属明細書

第5期

(2021年7月1日から2022年6月30日まで)

第5期事業報告において、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。